

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信

(NO.15)

2007.8.31

もくじ

1. 7月度(1) 定期ボランティア活動・報告
＜利用者説明会と歩道標識杭の準備、設置＞
2. 7月度(2) 定期ボランティア活動・報告
＜高校生のための森と海のゼミナールへのサポート活動＞
3. 8月度 定期ボランティア活動・報告
＜夏の森林教室へのサポート活動＞
4. 9月度 定期ボランティア活動・募集案内
＜お月見研修＞
5. 10月度 定期ボランティア活動・募集案内
＜天津小学校 緑の教室へのサポート活動＞
6. 10月度 定期ボランティア活動・募集案内(予告)
＜秩父演習林見学と"しおじの会"との交流会＞

7月度(1) 定期ボランティア活動・報告

～利用者説明会と歩道標識杭の準備、設置～

ボランティア 西山 康利

1. 利用者説明会と歩道標識杭の設置

平成19年6月19日(火)の10時より第12回千葉演習林利用者説明会が清澄作業所講義室で行われ、岩崎(寿)・(香)、石川(輝)・(れい)、恵、澤田さんと西山の7名が参加聴講しました。

私は、昨年も聴講しましたが、今年の方が聴講者は多かったように感じました。利用者説明会は千葉演習林を利



利用者説明会の様子

用して研究を行っている東京大学の学生や他の学校・団体が自分たちの研究内容を発表し、情報交換を行い相互に理解し、サポートしあうことを目的として行っているとのこと。ボランティア会 Abies としては昨年に続いて2回目の参加になります。

昨年の発表項目は25項目だったと思いますが、時間が不足していたように記憶しております。今年は32項目ありましたが、時間も余裕をもって進行しました。

内容は専門的な分野が多く、理解できないところも多々ありますが、地球環境に関連する事が多く若い学生さんは将来を見越し、自分達が何らかの役に立ちたいと思う熱意を強く感じました。特に「袋山沢水文試験地」で「森林理水及び砂防工学研究室」の学生さん達が研究されている項目は個人的に大変興味がありました。来年も期待したいと思います。

今年はボランティア会 Abies の活動報告の発表の時間も入れていただき、石川事務局長から参加者にお話しできたことは普段なかなか接触出来ない方々にも Abies の活動内容のPRが出来てよかったと思います。

発表会の後、恵さんと澤田さんは都合で帰られました。夜は懇親会がありいろいろな分野で研究されている方達のお話を直接聞くことができ親交を深める事が出来ました。

翌日の20日(水)はAbiesの活動日で本沢林道の標識杭の補修・設置作業を行いました。当日、近藤(禮)、堀込さんが参加してくれましたので前泊した5名に加えて参加者は7名となりました。

今回は職員の村川さんに本沢林道の入口である坂本まで車で送っていただき、二夕間川に沿った林道を下流から上流に向かっての作業です。

村川さんからは消失となっている標識杭も、もしかすると既に設置しているかも知れないとの話もありましたが、実際は調査どおり標識杭T3、T4、T8、T9、T22、T29が消失していたので、検縄(5



本沢林道での様子

0mの長さのひも状のものさし)を使用し、林相図に記載されている標識杭の位置を確認しながら設置をしていきました。本沢林道は比較的整備されている林道で、前に歩いたこともある道なので前半は比較的順調に進みました。

ところが林道が切れて歩道になるT38を過ぎた場所あたりから、状況は一変して道が土砂で埋まっていた不明確になりました。

時間をかけ、急斜面を上下して次のT39の標識杭はなんとか探しあてましたが、それ以降は見つからず、皆の体力もかなり消耗していたのでこの先の設置は無理と判断し、後日あらためて設置することとしました。



急斜面を下りる

桜ヶ尾新歩道の登り口まで引き返し、一杯水林道まで急坂を登りました。体力を消耗した後の登坂はかなり厳しく途中は殆ど声が出なくなってしまい登りきってやっとでた笑顔でした。

本沢林道の標識杭を設置・補修・確認しながらの作業はお互いにいろいろ珍しい生き物を教え合いとても勉強になったと思います。自分としては昨年初めて石川さんからミヤマトベラを教えてもらった木がまだ残っているか心配でしたが多少弱ってはいましたが元気でほっとしました。

この林道は植物の種類も多く演習林を案内する最適コースのひとつと感じました。戻る途中の一杯水林道にも初夏らしくヤマハンノキ、ヤブムラサキ、アカシヨウマ、クマノミズキ、ヤナギイチゴ、ナツボウズ、ハナミョウガ、ギンリョウソウ等々を見る事が出来て、皆疲れも忘れて元気に歩き清澄作業所に着きました。

本沢林道は演習林の林道としては比較的整備されている林道ですが、今後整備する林道や歩道の杭の設置作業はさらに厳しいことになりそうです。

今後は履物をしっかりすることはもちろん、崩壊地を上り下りするためのロープの準備や位置を探すコンパスの用意、事前に地図で地形図を十分読んでおくことなどが必要と反省しました。

最後のハプニングは近藤さんの靴の中でヤマビルが血を吸ってまるまると太っていました。ヤマビルファイターで防御しましたがヤマビルの吸血の凄さを改めて知りました。

今回は女性が4名参加していただいたのですが、最後はかなりつらい体験をさせてしまい申し訳なかったような気がします。これに懲りずまた参加して欲しいと思います。本当にご苦労様でした。

2. 歩道標識杭の設置（第2回）と準備作業

7月3日（火）に前回残った本沢林道のT40、T41、T42の標識杭の整備作業を行いました。参加者は石川（輝）、西山の2名です。

今回は本沢林道の源流である一杯水林道43林班C1小班付近から馬ノ背歩道に入りT42、T41、T40の順番に設置することにしました。

9時過ぎ村川さんに連絡後、清澄作業所を出発し一杯水林道を徒歩で現地に向かいました。到着後歩道の入り口をさがしましたがなかなか見つからずやっと見つけた後、石川さんが付近の林相図を取り出しコンパスと検縄で方向と距離を定めてT42の位置を確定し、先ず設置をしました。更に進みT41、T40は比較的容易に探し当てることが出来まし

た。

T40とT39の間にはスギの木が道をふさいでいて沢も倒壊して歩道が無くなっており、前回T40が探せなかった理由が良く理解できました。

今回の状況を見て前回無理をして探さなかったことは正解だったと確信すると共に山に入る場合はコンパス等の探索器具を持参することが必要で使い方も学ばねばと気持ちを新たにしました。

その後、下って桜ヶ尾新歩道を登坂するか引き返すか迷いましたが、麻綿原で昼食を食べたいので引き返しました。アジサイが満開で久しぶりに気持ち良かったです。

帰路、菖蒲沢に立ち寄り、名前の由来のショウブを復活させたいと話しました。

標識杭の設置は午前中で終了したので清澄作業所に帰り、午後の作業を村川さんと相談した所、標識杭の番号入れ作業が残っているとのことなので村川さんと3人で作成しました。予定されている杭の準備はこれですべて終了です。

標識杭の補修・設置作業は演習林を良く知る上でとても適した作業であると思います。

7月度（2） ボランティア活動報告

高校生のための森と海のゼミナール
～自然の中で考える環境問題と生物多様性～

ボランティア 石川 輝雄



磯の生き物の観察

「東京大学科学の森教育研究センター（千葉演習林）」と「千葉大学海洋バイオシステム研究センター」の主催で、平成19年7月31日（火）から8月2日（木）までの3日間にかけて「高校生のための森と海のゼミナール」が行われ、ボランティア会からは岩崎、藤田（和）さんと石川の3名がサポート役で参加しました。

参加した高校生は男性7名、女性2名、計9名で出身校は千葉県5名、東京都3名、埼玉県1名です。昨年（19名）より参加者は少なかったのですが、その分、きめ細かい対応ができ、中身の濃いゼミナールとなりました。

このゼミナールは昨年、一昨年と続けて台風に遭遇していて、今年も心配されましたが九州に接近している台風5号の影響もほとんどなくて、当初の計画通り実行することができました。

プログラムの内容は1. 多様な自然、2. 人と森のかかわり、3. 森と海のかかわり、4. 海の生物の多様性と進化などについての盛りだくさんの内容です。

具体的には、

- ・里山林、モミ、ツガ天然林、スギ人工林（牛蒡沢102年生）苗畑の観察
- ・袋山沢水文試験地の観察（樹木を伐採してない部分と伐採した部分の水の量や質
その他の比較調査試験地）
- ・猪ノ川河原での水生昆虫やその他生き物の観察
- ・シカ、ヤマビルなど野生生物との共生について講義
- ・ニホンジカの夜間野外観察
- ・スギ人工林の毎木調査と林分（樹木の集合）の材積測定
- ・磯の生き物の観察（千葉大）
- ・森林博物資料館見学
- ・プランクトンの顕微鏡観察（千葉大）

など、ほとんどが屋外の現地での講義で、今回のような環境が初体験の高校生が多い中でそれぞれ得るものが多かったとおもわれます。

私たちがサポートというよりも自分たちの勉強という感じとなりました。

8 月度 ボランティア活動報告

夏の森林教室サポート活動 ～親子で川とふれあう。生き物の観察～



猪ノ川の河原で

事務局 石川 輝雄

平成19年8月4日と11日に親子で川とふれあう夏の森林教室が演習林の主催でおこなわれ、サポートのため、ボランティア会 Abies として4日は堀込、近藤（禮）さんと、石川（輝）の3名、11日については石川（輝）（れ

い)の2名が参加しました。

当初、8月4日の1日のみの開催を予定していましたが、参加希望者が多くキャンセル待ちの状態になったので11日も追加開催をすることになったそうです。結局参加者は一回の募集人員20名に対して4日は24名、11日は29名と大盛況でおわかりました。

参加された親子は比較的近い館山市や木更津市以外に千葉県内の千葉市、市川市、長生村、長柄町、八千代市、船橋市、佐倉市、匝瑳市など広範囲にまたがっていて、いかに皆さんが楽しみにして参加しているかがわかります。

参加者の集合駅はJR安房天津駅、JR安房鴨川駅、JR上総亀山駅のいずれかですが、最後の上総亀山駅で点呼・確認・名札配布などの受付をすませてからマイクロバスで会場に向かいました。私たちはここから参加して手伝いをはじめました。

会場は春と秋の一般公開会場でおなじみの猪ノ川の河原です。

今回は8月4日活動に参加された堀込さんに感想をのべてもらいました。

ボランティア 堀込 光代

10時15分に上総亀山駅に集合して、今日の活動が始まります。連日続く猛暑の一日です。

ビヤクシンの枝を輪切りにした手製のペンダントが配られて、参加者に各自名前を書いてもらい、首から下げてもらいました。気温が高いせいかカラーペンのインクが流れて書きにくく皆苦労していましたが、それぞれカラフルでユニークな名札ができました。裏側には「東京大学千葉演習林」と焼き印があり、楽しい記念品になるとおもいました。

現地にマイクロバスと材料などをつんだ乗用車で目的地の猪ノ川林道に入りました。この場所は春と秋の演習林の一般公開の場所ですが、普段は車で入れない場所です。車を降りるとすぐにヤマビルの出迎えをうけました。

最初は橋の上から、川の中の生き物の観察です。小石を落とすとエサかと思って魚のウグイが集まってくるのがわかります。ここには前日、ペットボトルでつくったトラップを演習林の職員の方が仕掛けてくれているので、その成果を観察しました。

トラップは透明のものと白色に色をぬったものがありました。透明なものにはウグイ、サワガニ、シマドジョウ、ホトケドジョウが入っていました。透明なもの白色のものどちらに生き物が多く入るかはわからないようです。



橋の上からウグイを見ます

この付近は小櫃川の上流でここより上に人家がないことにより、水がきれいです。サワガニやホトケドジョウなどは水がきれいな川にしか生きられない生き物だそうです。ウグイは体長10cm程度で口先から尾まで腹側に橙色の線が入っていてきれいです。

つぎはさらに上流に移って参加した子どもたち自身によるトラップの設置です。思い思いに川の流れや、石の有無など考えて位置をきめていきました。

ここでお昼の時間に近くなりましたので再度マイクロバスにのって郷台学生宿舎にむかいます。途中愛くるしいシカを見ることができました。

郷台学生宿舎は演習林の創設当時そのままの建物で周囲はトトロの森を思わせる雰囲気のある場所です。

窓を全部開放つとしぜんの涼しい風が通りぬけて夏の暑さを忘れず。

ここで昼食をとりながら、参加者の自己紹介がありました。日本の良き原風景を思い出すような環境でもっとゆっくりとしたい気持ちでした。

午後はふたたび午前中にトラップを置いた場所に戻って成果をみました。ウグイがたくさん入っているもの、全く入っていないものなどいろいろです。

その後は川の中の生き物の観察とそれをえさとする魚釣りです。

最初、私には川の中にいる生き物が見つかりませんが、川の中をよく見たり、石を反したりすると色々とだんだん見つけることができるようになりました。

えさになる生き物はヘビトンボ、オオヤマカワゲラの幼虫、カゲロウの幼虫、ヤゴなどでした。子どもたちは素早く見つけることができました。

自分が見つけた生き物をルーペでながめて図鑑と照らし合わせて足の爪が1本だ、2本だなどと楽しみながら学んでいました。

ある程度えさになる生き物が集まって釣りをおこないます。釣竿は自然の竹を使ったものでウキも含め職員の手作り品です。

子どもたちは最初のうち、えさの虫を釣り針につけることを気持ち悪がっていましたが、最後には平気になりました。



ホトケドジョウ(左)とヘビトンボ(右)

ウグイが次々とかかり、歓声があがります。私たちは川を渡るさわやかな風を受けて気持ち良く、石に腰かけてのんびりと釣りの様子をながめていました。

最後にお互いにウグイが何匹捕れたか見せ合って、ふたたび川に放流しました。

全員、怪我などの事故もなく楽しい1日がおわりました。職員の皆さんの温かい配慮に感謝します。

9 月度 定期ボランティア活動 お月見研修のご案内

～ 歩道巡視ボランティア・自然観察・札郷宿泊研修～

気候の良い時期に会員のなるべく多くの人と一堂に会したいという目的でお月見研修をおこないます。満月は9月27日なのできれいな月をみることができそうです。

今年は札郷学生宿舎に宿泊してお月見やバーベキューを行いますので皆様のご参加をお待ちしております。

なお、非会員の人（家族、友人等で高校生以上）でも会員の同伴で参加することができます。

日 時 平成 19 年 9 月 29 日（土）～ 30 日（日）（宿泊、日帰り参加も可）

コ ー ス ・ 堂沢モミ、ツガ針葉樹天然林
・ 濁川近郊の観察
（詳細 9 月 1 2 日の下見で決めます。）

宿泊場所 札郷学生宿舎

集 合 9 月 2 9 日（土） 清澄作業所 1 3 : 0 0
（千葉駅、木更津駅、安房天津駅、安房鴨川駅より送迎も可能ですので事務局に相談ください。）

解 散 9 月 3 0 日（日） 清澄作業所 1 3 : 0 0 頃

参加費 会員 2 , 0 0 0 円（施設使用料、2 9 日夕食と 3 0 日朝食の食費）
非会員 2 , 5 0 0 円（同上 + 保険料）

持 ち 物 飲み物、野外活動ができる服装、長靴（沢をわたります。ヤマビル対策に濃い塩水を浸した幅 1 0 c m くらいの布を巻いてください。）懐中電灯、筆記用具、軍手、タオル、雨具、リュック、保険証のコピー、常備薬、マイカップ、会員証、ランタン（持っている人のみ）など。
（今回はスリーピングバックや毛布はいりません。）

雨 天 時 雨天が予想される場合は中止します。（中止の場合は 2 8 日の正午までに連絡）。

受付期間 9 月 6 日（木）～ 9 月 2 0 日（木）

申込方法 電話、FAX、E-mail のいずれかでお申し込み下さい。
非会員については、会員との間柄、生年月日（保険に必要）を明記して申し込み下さい。

キャンセル 買出しの都合のため 2 日前までご連絡下さい。

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies
事務局 石川 輝雄 宛

10 月度 定期ボランティア活動・募集案内

～天津小学校 緑の教室 サポート活動～

10月のボランティア活動の案内をします。天津小学校の“緑の教室”のサポート活動は子供たちとの一日、楽しく勉強にもなりますので、都合のつく方の参加をお願いします。

日 時 平成 **19** 年 **10** 月 **19** 日 (金) 日帰り

集 合 清澄作業所 8:40
(予定:参加者に決定次第連絡します。)

解 散 同 16:00頃

内 容 天津小学校 緑の教室・プログラム サポート

場 所 清澄作業所 近辺

持 ち 物 昼食、飲み物、野外活動ができる服装、靴(登山靴などしっかりしたものか長靴、地下足袋のいずれか。)軍手、タオル、雨具、リュック、敷物、保険証のコピー、常備薬、会員証など

定 員 4名 程度

雨 天 時 状況により対応します。

受付期間 10月1日(土)～10月10日(月)

申込方法 電話、FAX、E-mail のいずれかでお申込み下さい。

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局



10月度 定期ボランティア活動 募集案内（予告）

～ 秩父演習林見学 " しおじの会 " との交流会 ～

昨年の11月に、大勢の秩父演習林サポーターしおじの会の方々が千葉演習林にこられ私たちも案内や交流会を行いました。そして今回、千葉演習林ボランティア会 Abies が、紅葉の時期の秩父演習林に行きます。

しおじの会の皆さんが私たちの歓迎に準備をすすめられているとのこと、ぜひ多くの会員の参加をお待ちします。

なお、非会員の人（家族、友人等で高校生以上）でも会員の同伴で参加することができます。

日 時 平成 19 年 10 月 27 日（土）～ 28 日（日）（1泊2日：日帰り参加の場合は相談ください。）

内 容 ・入川軌道跡と入川林道沿いの試験地の見学
・シオジの原生林の見学

集 合 10月27日（土） 午後1時 西武秩父駅

宿泊場所 秩父演習林 川俣学生宿舎

解 散 10月28日（日） 午後

参加費 最大6,500円（施設使用料、27日夕食と28日朝食。昼弁当の食費）
非会員（同上＋保険料500円程度）

西武秩父駅までの交通費は各自負担

（正式な参加費は次回案内時に連絡します。）

そ の 他 正式募集案内は9月に連絡します。

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies
事務局 石川 輝雄 宛

千葉演習林ボランティア会 Abies 通信 No.15 2007/ 8/31 発行

*事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102

石川輝雄

* 東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770

TEL:04-7094-0621 FAX:04-7094-2321